



View plus (センサー)
HUB (ハブ)

取扱説明書



目次

1	設置	—————	P.3
1.1	ハブの設置	—————	P.3
1.2	設置方法	—————	P.3
1.3	トラブルシューティング	—————	P.5
2	センサーの設置	—————	P.6
2.1	設置に必要なもの	—————	P.6
2.2	設置方法	—————	P.7
2.3	トラブルシューティング	—————	P.8
3	ダッシュボード	—————	P.9
3.1	空気質	—————	P.9
4	アラートの作成	—————	P.10
5	安全にお使いいただくために	—————	P.14

1 設置

1.1 ハブの設置

ハブは、センサーからデータを収集し、クラウドにデータを送信して、ウェブアプリで確認できるようにするデバイスです。

ハブは、障害物のない空間であればセンサーから100m以内にあるデータを収集することができます。センサーとハブの間の壁や床の厚さ、その他の所が異物によって異なります。また、ハブから4階程度離れたセンサーにも接続することができます。1つのハブは、範囲内であれば複数のセンサーを同時にホストすることができます。以下に示すように、センサーを設置する前にハブを設置してください。

設置に必要なもの

- カメラとインターネット接続機能がついた携帯電話又はタブレット
- 以下のハードウェア
- ペンとシール(オプション、プラグに「抜かないでください」とラベルを貼る場合)



ハブ



アダプタとケーブル

*日本では USB ケーブル+AC アダプタとなります。



eSIM カード



両面テープ



イーサネットケーブル

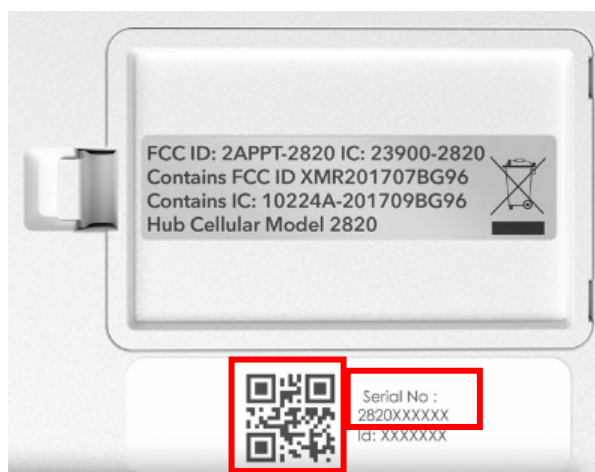
1.2 設置方法

手順は以下の2ステップです。

1. ウェブアプリでハブを設定 (*お渡し時にクラウド登録が完了している場合は、本設定は不要です。)
2. ハブを設置

- (1) ウェブアプリでハブを設定

ハブの裏側のビニールカバーをはずし、カメラのついたデバイスでQRコードをスキャンします。手動で入力する場合はシリアル番号を確認してください。



(2) ハブを設置

ハブをクラウドと接続するのは2種類の方法があります。モバイル接続かイーサネット経由で行います。最初にモバイル接続でインストールしてみてください。ハブに緑色のクラウドマークが表示されなければモバイル接続ができなかったことを示します。その場合はイーサネット経由でインストールしてください。

インストールのポイント

できる限りセンサーと近い距離でインストールを行ってください。センサーとハブの接続状態が強いかどうか確認してください。

モバイル接続

1. 充電器を使ってハブを電源コンセントに接続します。
2. eSIM/SIMカードはあらかじめハブに挿入しすぐに使用できる状態にしておきます。イーサネットケーブルを接続する必要はありません。

又は

イーサネット経由

1. 充電器を使ってハブを電源コンセントに接続します。
2. ハブにイーサネットケーブルを差します。ケーブルはハブのポート(以下)とイーサネット接続口に差します。



その後

1. すぐに緑色の電源供給マークが点灯します(以下)。その後数分以内にクラウド接続マークが点灯し(以下)クラウドに接続したことを確認します。このマークが点灯しない場合はトラブルシューティングを確認してください。
2. 両面テープをハブの裏側に貼りハブを設置します。



電源



クラウド接続

1.3 トラブルシューティング

ハブの接続テスト

- ハブがクラウドに接続しているかどうかは現時点ではウェブアプリ上では確認できません。以下の画像にある通りハブのとなりにバーが表示されません。
- センサーバーが表示されれば接続しています。その場合ハブも接続していると考えてよいでしょう。

□	タイプ	状態	アラート	名前	最新の読み取り	信号
□	📶	○	0	XXXX	該当なし	
□	📶	○	0	XXXX	● まあまあ 8分前	📶

- ハブの接続状態は実際にハブを見て確認することもできます。クラウド接続マークが緑色に点灯していれば、ハブはクラウドに接続済みです。
- インストール時はデバイスをクラウド接続するには最大2時間かかります。クラウド接続マークが緑色になるまで少し時間がかかります。
- 2時間経ってもクラウド接続マークが緑色にならない時は、設置場所を変更してください。

2 センサーの設置

センサーは、温度、湿度、気圧、揮発性有機化合物(VOC)、PM1、PM2.5、二酸化炭素、光、雑音、ウィルスリスクなど、さまざまな空気質の不確定要素をモニタリングするために使用することができます。このセンサーには、健康や幸福度、建物の効率を向上させるための、建物または空間の情報が表示されます。

センサーを設置する前に、センサーを設置する場所にハブを設置しておき、センサーの信号を確認しておきましょう。

2.1 設置に必要なもの

- カメラ付きでインターネット接続ができる携帯電話かタブレット
- 以下のハードウェア



センサー



単3電池



両面テープ

2.2 設置方法

以下の3つのステップで設置できます。

1. ウェブアプリでセンサーを設定(*お渡し時にクラウド登録が完了している場合は、本設定は不要です。)
2. センサーを設置
3. センサーがオンラインであることを確認

(1) ウェブアプリでセンサーを設定

センサー背面の磁気ディスクを外し、バッテリーについているビニールのタグを取り外してください。携帯電話やタブレットのカメラでセンサーのQRコードを読み取ります。カメラが使えない場合は、このステップから「デバイスを手動で特定する」を選択し、デバイスのシリアル番号を入力します。



(2) センサーの設置

設置のポイント

- 推奨する設置高さ: 床から150~170cm。頭の高さ。
- 壁、ドア、エアコン、給排気、換気扇、ヒーター、その他高温や低温を発生させるものから1m以上離して設置してください。
- 天井には取り付けないでください。
- 壁への設置は同梱の両面テープを使用してください。例えば、木製や布製のでこぼした表面や産業機器やエレベータに設置する場合はセンサーをネジ止めしてください。

(3) センサーがオンラインであることを確認

電源スイッチが入ったセンサーと電源スイッチが入ったハブをつなぐのがSmartlinkです。Smartlinkの初期開通は最大12時間かかります。

Smartlinkが開通したらハブに以下のマークが表示されます。

注意: ハブ1つに対して複数個の空気質センサーが接続している場合、どの機器がハブに接続しているのか、両方とも接続しているのかを識別することはむずかしいです。



2.3 トラブルシューティング

センサーの信号強度テスト

- センサーがハブに接続され、クラウドにデータを送信しているかどうかは、センサーを見ただけでは判断できません。
- センサーがハブに接続されていることを確認するには、ハブのSmartlinkマーク(下図)が緑色に点灯していることを確認する必要があります。センサーがハブに接続されていることを確認するには、ハブのSmartlinkマーク(下図)が緑色に点灯していることを確認する必要があります。



- 場合によっては、設置後にこのセンサーがウェブアプリに接続中と表示されるまで、最大12時間かかることがあります。
- 12時間後、ウェブアプリのセンサーの右端に信号バーが表示され、センサーが接続したことが確認できます。

<input type="checkbox"/>	タイプ	状態	アラート	名前	最新の読み取り	信号
<input type="checkbox"/>	☺	○	0	竹芝35階 執務エリアIAQ	● まあまあ 4分前	

- センサーを別の部屋に移動した場合は、電池を入れ直して一番近いハブに再接続してください。

3 ダッシュボード

ダッシュボードのインストールおよび活用方法

温度、湿度、気圧、VOC、PM1、PM2.5、二酸化炭素、光、雑音、ウィルスリスクをモニタリングし、最適な状態を維持することで、無駄なエネルギーを使わず生産性を向上させます。

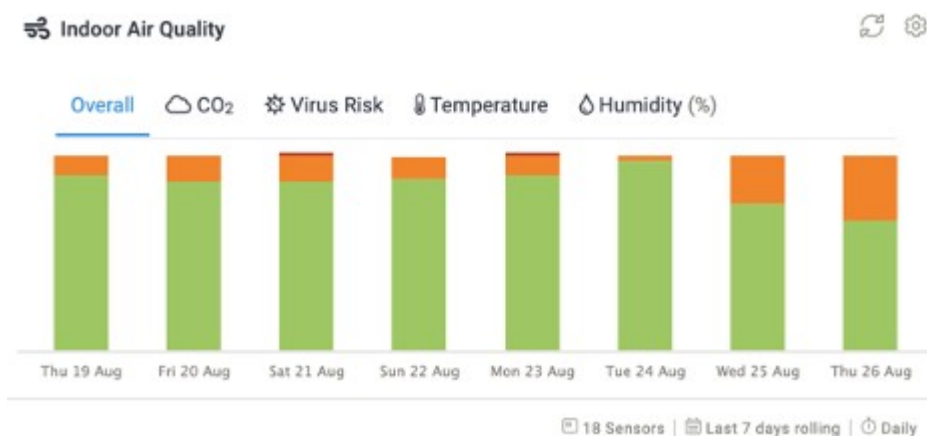
一連の閾値(一般的に受け入れられている空気質基準を使用)が適用され、異なるデータセットを理解しやすくなっています。これは、グラフの赤、黄、緑の色で確認でき、「良好」、「普通」、「悪い」状態で過ごした時間の割合が表示されます。

ダッシュボードを作成するには、左上のダッシュボードアイコンをクリックし、[新しいダッシュボードを追加]をクリックして名前を付けます。

ダッシュボードを設定できる1つのウィジェットがあります。

- 空気質

3.1 空気質




1. ダッシュボードの右上にある「ウィジェットの追加」をクリックします。
2. 「空気質」を選択し、「次へ」を押します。
3. 最初にレポートしたいセンサーを選択して、ウィジェットを設定します。
4. 日付の範囲を選択します。これは、固定された日付の範囲か、または連続した日付の範囲のいずれかです。デフォルトでは、過去7日間となります。さらに、データに週末を含めるかどうかを選択し、レポート対象となる時間帯を選択します。
5. 表示オプションをクリックして、データを毎時、日、週、月のいずれで表示するかを選択します。
6. 保存します。

これにより、選択したセンサーからのデータに基づいて空気質の全体像を表示する上記のウィジェットが作成されます。全体的な結果は、このウィジェットにある温度、湿度、気圧、

VOC、PM1、PM2.5、二酸化炭素、光、雑音、ウィルスリスクのタブに分かれています。クリックすると、全体的な結果の一因となった測定値が表示されます。

4 アラートの作成

新しいアラートを設定するには？既存のアラートを変更または削除するには？

新しいアラートを設定する場合、アラート概要セクションを開きます。左側のメニューの  マークをクリックしてください。「新しいアラートの追加」をクリックします。



アラートの設定はとても簡単です。名前入力、設定オプションを1つ選択、値の編集し条件を入力します。

条件を決定したら、それを適用するセンサーを決定する必要があります。センサーのフォルダ（フォルダ内のすべてのセンサーが選択されます）、または1つ以上の個別のセンサーを選択することができます。いずれかのセンサーが設定した条件を満たした場合、アラートがトリガーされません。



次に、誰に通知するか、どのように通知するかを決める必要があります。メールまたはSMSでアラート通知送信を選択でき、通知がトリガーされたときに送信されるメッセージを編集することができます。デフォルトのテンプレートには、アラートがトリガーされたセンサーの詳細を反映したいくつかの値が表示されます。

メールで通知 ? ^

件名

{{ sensor_name }}{{ sensor_type }}センサーに対してアラートがトリガー

コンテンツ

以下のセンサーに対してアラートがトリガーされました。

センサー名：{{ sensor_name }}

センサータイプ：{{ sensor_type }}

センサーサブタイプ：{{ sensor_sub_type }}

センサーラベル：{{ sensor_labels }}

センサーの位置：{{ sensor_location }}

このセンサーには、{{ previous_alerts }}の未承認のアラートがあります。
 これを確認するには、Infogridウェブアプリケーションにログインしてください。

ユーザーを選択

Steven

SMS アラートの場合は携帯電話番号を入力してください。

入力項目

センサー名:{{ sensor_name }}

センサータイプ:{{ sensor_type }}

センサーサブタイプ:{{ sensor_sub_type }}

センサーラベル:{{ sensor_labels }}

センサーの位置:{{ sensor_location }}

未読のアラート数:{{ previous_alerts }}

最後に確認したアラート:{{ latest_reading }}

指定の日時にアラートを受信したい場合は、以下の設定を行ってください(アラート通知セクションの上)。

アラートスケジュールを選択:

いつでも 特定の時刻

<input type="checkbox"/> 月曜日	00:00	00:00	すべての日に適用
<input checked="" type="checkbox"/> 火曜日	09:00	17:00	
<input checked="" type="checkbox"/> 水曜日	09:00	17:00	
<input type="checkbox"/> 木曜日	00:00	00:00	
<input type="checkbox"/> 金曜日	00:00	00:00	
<input type="checkbox"/> 土曜日	00:00	00:00	
<input type="checkbox"/> 日曜日	00:00	00:00	

タイムゾーン:

Asia/Tokyo

「センサーグループの追加」をクリックすると、センサーグループ単位で色々なグループの人に通知を送ることができます。建物やフロアごとにたくさんのアラートを設定する必要はありません。

+ センサーのグループを追加

ユーザーを選択
Steven

SMSで通知

アラートスケジュールを選択:
 いつでも 特定の時刻

アラート名、条件、センサー、通知オプションを追加したら右上の「保存」をクリックします。

新しいアラートを作成 キャンセル **保存**

1 このアラートに名前を付ける

アラート名 有効

2 条件を設定

場所 任意のセンサー ▼ 以下の基準に一致します：

PM₁ ▼ 値 ▼ です 以上 ▼ 25 µg/m³ 対して 1時間 ▼

+ 条件を追加

アラートの名前の横にある「編集」をクリックすると、同じアラートの概要セクションから変更することができます。同様に、「削除」をクリックしてアラートを削除することもできます。

5 安全にお使いいただくために

一般的な安全性とメンテナンス

- 本製品は、燃料貯蔵所、化学工場、発破現場などの潜在的に危険な場所での使用を意図したものではありません。
- 本製品は屋内使用のみを想定しています。
- 長時間の直射日光への露出は避けてください。
- 直接熱源に当たらないようにしてください。
- 正しく使用するために、センサーは指定された温度範囲内で動作するようにしてください（個々の製品の技術仕様を参照してください）。
- 高湿度の環境では、感度が永久的に変化したり、破損したりすることがあります。
- 本製品を分解しないでください。
- センサーが仕様通りに作動しない場合、または疑問がある場合は、カスタマーサービスに連絡してください。
- センサーの清掃には、乾いた布を使用してください。
- 電池を交換する際には、極性マークに注意してください。
- センサーを常設しない場合でも、電池を保護するために必ずセンサーの背面に取付金具をはめ込んでください。
- 廃棄する場合は電子機器として適正な方法にて廃棄してください。
- 屋外や濡れている場所で本製品を保管・充電しないでください。
- 本製品や充電器を子供のおもちゃにしないでください。幼児の手の届く範囲では使用しないでください。
- コードやプラグが傷んでいたら使用しないでください。
- 落下、損傷、屋外での放置、水中への落下により充電器が正常に動作しない場合はカスタマーサービスに連絡してください。
- コードをハンドルとして使わないでください。
- コードをドアにはさまないでください。
- 濡れた手でアダプタやコード、本体を触らないでください。
- バッテリーを使用しない時は、クリップ、コイン、鍵、釘、ネジ、孫田の小さな金属製の物など、特定の端子から別の端子に接続可能な金属製の物を近づけないようにしてください。
- バッテリーが適切に使用されていない状態では、バッテリーから液漏れする危険性があります。誤って接触してしまった場合は、水で洗い流してください。バッテリー液が漏れると炎症や火傷を起こす危険性があります。
- メーカーが推奨していない付属品は使用しないでください。推奨されていない付属品を使用した場合重大な人身傷害を引き起こす可能性があります。

輸入元

〒105-0022 東京都港区海岸 1-7-1

SmartBX 株式会社

販売元

〒114-0023 東京都北区滝野川 7-39-7

株式会社くうかん

問合せ先 03-5980-7027 INFOGRID 担当者宛